

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2023年 8 月 10 日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企 業 ・ 団 体 名	白鳥運輸株式会社
所 在 地	〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町 108 番地
代 表 者 役 職 ・ 氏 名	代表取締役社長 坂田 薫
担 当 者 連 絡 先	電 話：045-641-3841
	メール：h-nishio@shiratori-logi.com
ウ ェ ブ サ イ ト U R L	https://shiratori-logi-com.prm-ssl.jp

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

昭和 25 年に設立し、横浜港での荷役作業を中心業務として営業し、同 37 年一般区域貨物自動車運送事業免許を取得、続いて同 39 年に沿岸荷役事業免許を取得し、会社基盤を確立せしめ順調に伸長して参りました。 更に、同 45 年東京地区に進出し、倉庫荷役業務を引き受け事業拡大を図り、その後、貨物のコンテナ化等、革新の輸送に伴う港湾情勢の変遷に対応すると共に、将来の発展を期し、同 49 年海上コンテナ輸送部門を開設し、現在に至っております。
--

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
✓環境 □社会 □経済	社用車のハイブリッド・EV 化への切替	現在：20% → 全車両対象
□環境 ✓社会 ✓経済	業務支援ソフトの導入による生産性の向上、見える化の実現 働き方改革による時間外削減	ゼロ災への実現（ハード面、ソフト面） 時間外15%削減
□環境 ✓社会 ✓経済	安定的な雇用とし、毎年新卒者採用 定年後のシニア社員の採用	毎年度：1 名以上の採用 定年者の活用業務枠の拡大

(次項へ続く)

(様式第2号)

企業・団体名(白鳥運輸株式会社)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している						5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している					5.1 5.2 5.5				8.5 8.8								16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	業務の生産性向上や見える化を実現するため、 業務支援のシステム導入								8.5 8.8									
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している					4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	安全衛生委員会の開催(毎月) 社内安全パトロールの実施(週一)			3					8									
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる				3														
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	各事業所内への女性の採用や、シニア社員の活用					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	社外研修や講習・教育などの参加				4	5.5			8	9								
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している						5.5			8.5		10.2 10.3							
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	定期健康診断受診、特定検査や二次検診の推奨 インフルエンザワクチン接種の推進・補助			3					8									
11	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる												11.6	12.4 12.5		14.1			
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	社用車のハイブリットやEV化 昼休みや不要な場所の消灯 空調システムの管理							7.3						13				
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている								7.2 7.3					12.4	13.3				
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる				3.9			6.3					11.6	12.4					

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
15	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している							6.6									15		
16	【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる							6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している			3.9				6	7					12	13.3	14	15		
18	【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している													12.6					
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる								7.2						13				
20	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる													12.2	13	14	15		
21	【製品・サービスの安全性】 ・ 製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している			3.9										12.4					
22	【品質保証】 ・ 品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	業務支援ソフトの導入により見える化の実現									9								
23	【環境配慮】 ・ 環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる							6						12	13	14	15		
24	【社会課題解決】 ・ 社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・ 自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	地区内での港湾関係の協会への所属し、地域との交流活動などへの積極的参加				4					9		11	12		14	15		17
26	【社会貢献活動】 ・ 寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	各所での事務所外周りで清掃活動実施				4							11			14	15		17
27	【地域資源】 ・ 地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している									8	9		11	12	13				

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
28	【内部管理体制】 ・SDG s の達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	HPIにて、当社のSDGsへの取り組みを掲載し、社内全体での意識改革と決意を公表								8	9								17
29	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	安全衛生委員会を通じ、他社事故事例などを例題に重要性を説明し、社内全体で共有している。																16	
30	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している																	16	
31	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）																	16	17
32	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している																	16	
33	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる																	16	
34	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している										9		11		13.1			16	
35	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている									8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・各カテゴリ毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。
- ・列の高さは適宜修正して頂いて構いませんが、取組がない事項であっても列を削除しないでください。（空欄で結構です。）
- ・今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。
- ・なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- ・取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- ・「主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したものです。個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。

令和 6 年 8 月 22 日

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地：	〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町 108 番地
名称：	白鳥運輸株式会社
代表者：	代表取締役社長 坂田 薫
登録年月日：	令和 5 年 9 月 29 日～令和 8 年 9 月 29 日

みなとSDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 □経済	社用車のハイブリッド・EV 化への切替	現在：20%→全車両対象	1 台ハイブリッド車への切替完了 5 台中、2 台ハイブリッド車 40%
□環境 ✓社会 ✓経済	業務支援ソフトの導入による生産性の向上、見える化の実現 働き方改革による時間外削減	ゼロ災への実現 時間外 1 5 %削減	現場系業務支援ソフト導入完了 →ハード・ソフト面での事故ゼロ →時間外 5 %削減
□環境 ✓社会 ✓経済	安定的な雇用とし、毎年新卒者採用 定年後のシニア社員の採用	毎年度：1 名以上の採用 定年者の活用業務枠の拡大	中途 2 名採用済み（増員） シニア社員 1 名継続採用済み

令和 7 年 8 月 28 日

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地：	〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町 108 番地
名称：	白鳥運輸株式会社
代表者：	代表取締役社長 坂田 薫
登録年月日：	令和 5 年 9 月 29 日～令和 8 年 9 月 29 日

みなとSDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 □経済	社用車のハイブリッド・EV 化への切替	現在：20%→全車両対象	1 台ハイブリッド車への切替完了 5 台中、3 台ハイブリッド車 60%
□環境 ✓社会 ✓経済	業務支援ソフトの導入による生産性の向上、見える化の実現 働き方改革による時間外削減	ゼロ災への実現 時間外 15%削減	ハード・ソフト面での事故ゼロ →時間外 5.1%削減
□環境 ✓社会 ✓経済	安定的な雇用とし、毎年新卒者採用 定年後のシニア社員の採用	毎年度：1 名以上の採用 定年者の活用業務枠の拡大	中途 1 名採用 定年退職者該当無し